

札幌市環境事業部からのお願い

新型コロナウイルス感染症に係る家庭ごみの捨て方

ごみを捨てる際は、ごみに直接触れない、ごみ袋はしっかりしばって封をするそしてごみを捨てた後は手を洗うことを心がけましょう。

使用したマスクや鼻水などが付着したティッシュなどを廃棄する際は、ポリ袋に入れるなど封をしてから、市の指定ごみ袋に入れて飛び散らないよう袋の口をしっかりと結んでごみステーション出してください。

ごみの捨て方

- ①ごみ箱にごみ袋をかぶせます。いっぱいになる前に早めに②のとおりにごみ袋をしばって封をしましょう。
- ②ごみに直接触れることがないように、なるべく空気を抜いてしっかりしばります。
- ③市の指定ごみ袋に入れて、しっかりとしばり「燃やせるごみ」の日に「ごみステーション」に出してください。
- ④ごみを出した後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。



【自宅療養される方や感染の疑いのある方等がいらっしゃるご家庭について】

マスクやティッシュのほか、飲料水のペットボトルや弁当容器等の通常は資源ごみとして分別している「容器包装プラスチック」「ペットボトル」「雑がみ」については、燃やせるごみとして指定ごみ袋に入れて排出いただき、「びん・缶」「スプレー缶・カセットボンベ」「ライター」「筒型乾電池」については、念のため1週間程度保管のうえ、通常どおりの分別・排出方法でごみステーションに排出していただきますようお願いいたします。また、「大型ごみ」は自宅療養解除後などにお出しく下さい。

「燃やせるごみ」



※ 唾液等がついたペットボトル等は、マスク等と同様にポリ袋に入れてから市の指定ごみ袋に入れて下さい。

※ 注射針や消火器、タイヤなどの危険物等については、通常と同様「ごみステーション」には出せません。

自宅療養解除後等における通常の資源物の出し方について

上記の分別の取扱いについては感染症対策としての特例処置です。

「びん・缶・ペットボトル」、「容器包装プラスチック」、「雑がみ」は、分別していただき、それぞれの収集日にごみステーションにお出しく下さい。

ごみの分別、ごみの減量・リサイクルの推進にご協力をお願いいたします。